

# 榎本弘名誉教授の記念特集号刊行に当たって

経済学会長 熊谷彰矩

青山学院大学経済学会は、『青山経済論集』第52巻第3号を、榎本弘名誉教授記念号として刊行する運びとなりました。

榎本弘教授は、1961(昭和36)年青山学院大学経済学部に着任されて以来、本年3月定年退職されるまで、39年の長きに亘って本学に奉職されましたが、この永年に亘る本学に対する御貢献により、青山学院大学名誉教授の称号を授与されました。茲に、名誉教授御就任に対し、心からなる御祝詞を申し上げますとともに、本学会への御尽力に深い謝意を表する次第であります。

榎本名誉教授は、青山学院中部(旧制)、高等部を経て、1954(昭和29)年同大学院経済学部商学科を御卒業になり、同大学院経済学研究科経済学専攻修士課程に進学され、1956(昭和31)年同課程を終えて、一旦、鹿児島経済大学に赴任されましたが、1961(昭和36)年には青山学院大学経済学部専任講師として戻られ、以後助教授を経て1971(昭和46)年教授に就任されました。経済学部副手の時代も含めると、学院の在職期間は事実上41年にも及ぶことになり、その間専ら教育と研究の業に専念されたのであります。加えて敬虔なるクリスチャンでもいらっしや、学院の発展に寄与するところ極めて大なるものがありました。

榎本名誉教授は、御着任以来、「経済原論」「価格理論」等、経済学教育の根幹となるべき講義を永年に亘って担当され、また演習においても多くの学生を熱心に指導されました。「ホトケの榎本、オニのゼミ」——お人柄とゼミの厳しさをこれほど正確に表現したものはありません。その中から教授の薫陶を受けた優秀な学徒が多数輩出されております。御専門は理論経済学、主としてミクロ経済理論ですが、経済とキリスト教に関連する本質的課題も追求してこられました。従って、御著書は『消費経済理論の基礎』『マクロ分析の経済学』『近代経済学講義』

『近代経済学入門』『現代の価格理論』他、多数に及びますが、その中には『イエスと歩む人生』『イエスをめぐる群像』など、誠に榎本名誉教授に相応しい御著書も含まれています。御退任の直前にも本論集に論考（「ケインズの「消費性向」をめぐる初期の論争」本論集第51巻第1・2・3号所収）を寄稿しておられますが、御退任を間近にしてもなお最後まで御研究を続けられた学者としての真摯なお姿をそこにも拝見することができるのであります。

大学行政におきましては、経済学部長を2期4年に亘って勤められたほか、図書館長、厚生部長、学生部副部長等も歴任されました。学外にあっても日本経済学会や日本経済政策学会で御活躍なさいました。また、日本バプテスト連盟、大井バプテスト教会に所属され、責任役員、付属幼稚園理事、教会学校校長、信徒代表、さらに東京バプテスト校理事長など数々の要職を務められ、現在も積極的な活動を続けておられます。

昨年、学部設立50周年を機に、永年懸案であった経済学部同窓会が設立されましたが、3万人を越える校友をまとめ同窓会設立という難事業を見事に果されたのも榎本名誉教授でありました。その後、経済学部同窓会長に推されましたのも蓋し当然であります。本年6月には総数約20万に達する全学の青山学院校友会会長にも推挙されております。

榎本名誉教授の永年に亘る本学部への御貢献に対し、重ねて感謝申し上げますとともに、今後一層の御健勝と御活躍を心からお祈りするものであります。